

「ゴルフ練習場をやめることにしました」。水戸市のゴルフ練習場「ロイヤルグリーン水戸」は、こんなキャッチフレーズを掲げて顧客層を広げている。女性のグループや子ども連れ、さらにはパーティー需要も取り込む。経営するウィルトラスト（水戸市）は、ビジネスモデルを磨き、他地域での展開もにらむ。

ゴルフ以外も楽しめる練習場

2階席はさらに特徴的だ。スクール専用の打席や、大人数が座れるソファがある打席、女性専用席やペットを同伴できる打席もある。

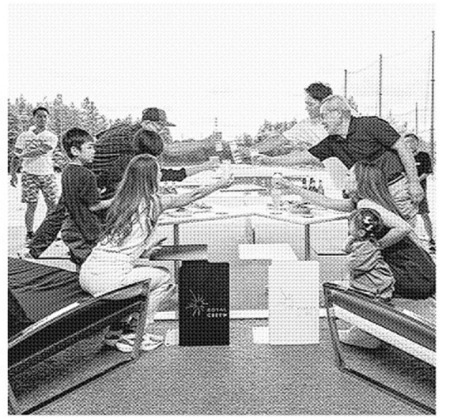
地元食材を用いた料理も出すカフェにビリヤード台、子どもが遊べる柔らかいボールを使うスタックゴルフのコーナーもある。ゴルフを楽しむ友人を見ながらアルコールを楽しんだり、カフェを貸し切り企業の宴会や結婚式の2次会を開いたり、様々な形で使われる。

ウィルトラストの磯崎博文社長は「単なるゴルフ練習場ではなく、家族や友人と過ごす場所にする」と説明する。クラブハウスや打席の改装などに約2億円を投資して2021年4月に改装開業した。新型コロナウイルス禍の間に約8000万円だった年間売り上げは24年9月期に約2億5000万円に拡大した。

家族・友人と過ごす場に

もとは磯崎社長の大叔父がバブル経済期に設立したゴルフ練習場だ。不況で動産情報サイトのLIF（ライフル）があり、磯崎社長は「この業務に就いた磯崎社長が後継者として自信になる」と話す。2012年、金融機関との債務整理や競売に出された設備の買い戻しなどを経て、大規模投資に踏み切った。

22年に福島県いわき市でニーズのあるサービスを提供する（磯崎社長）と改称した。国内には約2300の屋外ゴルフ練習場があると言われている。磯崎社長は「売上げが低迷し、後継者不在で閉鎖する例も多い。当社がその受け皿になっていきたい」と語る。（剣持泰宏）



2階席ではゴルフを楽しむ友人や家族を見ながらアルコールを楽しめる席も用意する＝ウィルトラスト提供